

＜社会福祉学部社会福祉学科（心理学専攻）のディプロマポリシー＞

心理学専攻では、建学の理念である「同朋和敬」の精神を理解し、社会貢献可能な人間を育てることを目指しています。それらを実現するためにカリキュラム編成がなされ、その中で体系的・総合的に学ぶことができるような教育を実践します。所定の単位を修得し、かつ以下のような資質を備えた学生に対して卒業を認定し、学士（社会福祉学）の学位を授与します。卒業までに身に付けるべき資質を以下に示します。

1. 知識・理解

① 教養的知識

人類の文化・社会・自然についての教養的知識を修得するとともに、多文化・異文化に関する知識を修得している。

② 体系的な専門的知識

心理学の専門分野における基本的な知識を体系的に理解している。

2. 汎用的技能

③ 言語・数量的スキル

心理分野において活用できる技能（コミュニケーションスキル、数量的スキル、情報リテラシー等）を身に付け、活用することができる。

④ 問題解決力

さまざまな心理的課題状況に適用できる論理的思考力・問題解決力を身に付け、活用することができる。

3. 態度・志向性

⑤ 自己管理とチームワーク

自ら律して行動し、他職種と協働して行動できる。

⑥ 建学の精神を礎にした倫理観

「同朋和敬」の精神と、共に生きがいのある社会の実現のために積極的に行動できる。

4. 総合的な学修経験と創造的思考力

⑦ 総合力

獲得した心理学の知識・技能・態度等を総合的に活用し、自ら立てた課題に対して創造的な解決を図ることができる